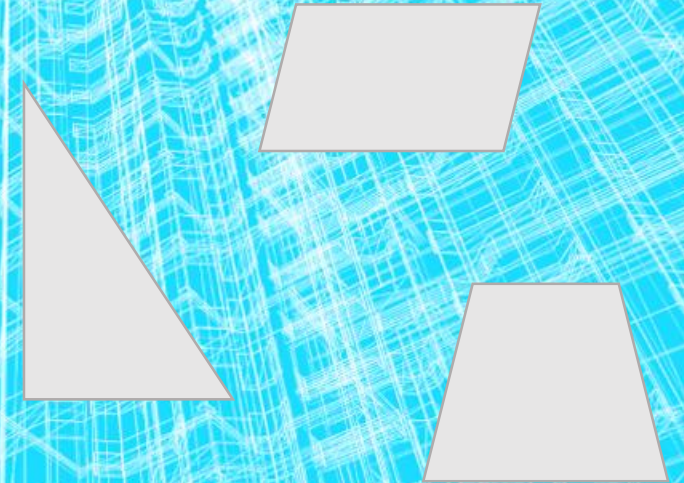


これまでに習ったことを使って  
三角形・平行四辺形・台形の面積を  
求めよう！



**対 象** : 小5算数科

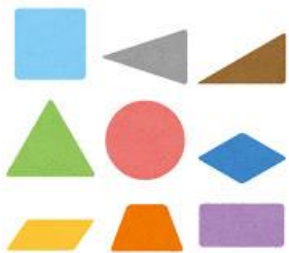

**ツール・機能** : デジタル教材「学習探検ナビ」(ベネッセ)

**分 類** : 思考活動・協働活動

## ICT活用のねらい

- 定規やはさみでの細かな作業が苦手な児童でも、図形の学習において大切な操作活動を、端末の画面を使って簡単に行うことができます。また、修正も簡単にできるので、試行錯誤しながら思考活動を繰り返すことができ、全ての児童にとって平等な学びが保証できます。
- 端末に思考過程を記録し、電子黒板で提示することができるので、自分の考えを分かりやすく友達に説明することができます。
- 記録した児童の思考過程を評価材料として活用することで、授業中に十分見取ることができなかった児童の様子も的確に評価することができます。

# 学習の流れ

導入	展開	まとめ
<ul style="list-style-type: none"><li>既習事項（長方形や正方形、三角形、平行四辺形の面積の求め方）を使って、「台形面積の求め方を考える」というめあてをつかむ。</li></ul> 	<ul style="list-style-type: none"><li>台形を2つの三角形に分けたり、2つ並べて平行四辺形にしたりして、既習事項が使える形に変形することで、台形面積の求め方を考える。</li><li>自分の考えを電子黒板に提示して友達に伝え、同じところ、違うところを見付け、自分の考えと比較し、吟味する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>学習を振り返り、自分の考えを吟味し、次時の学びへつなげる。</li></ul> 

活用場面①

活用場面③

展開

まとめ

活用場面②

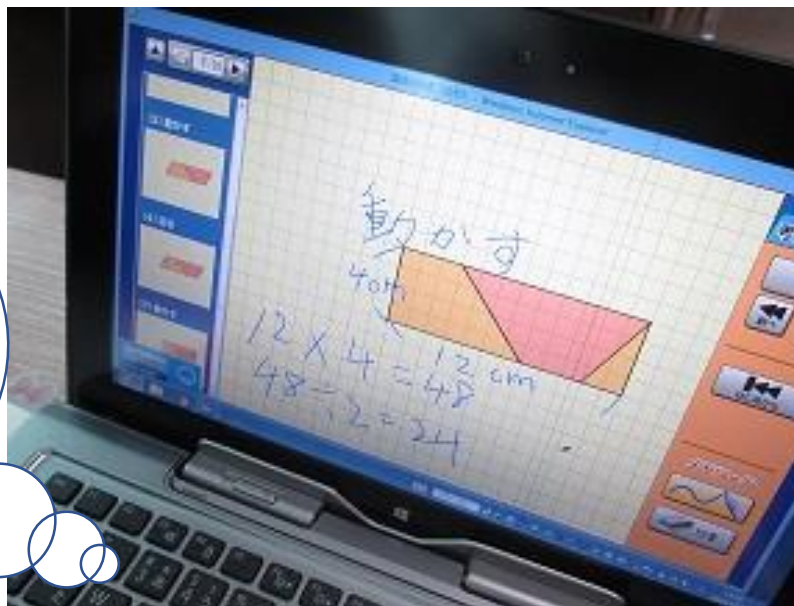


# ここがポイント!

## 展開での活用場面①

台形を2つの三角形に分けたり、2つ並べて平行四辺形にしたり、**既習事項が使える形に変形して考える**ことができます!

まず、台形を2つに分けたら、コピーしてこの三角形は回転してここに……。こっこの台形も回転してくっつけたら長方形になりそうだ!



「学習探検ナビ」(ベネッセ)を活用して

細かな作業が苦手な児童でも、修正が簡単にできるので、試行錯誤を繰り返しながら思考活動ができます!

児童の**思考過程を1人1台端末で記録・再生**することができるので、それぞれの考えを端末上で確認することができます!  
(**指導に生かす評価**につなげます。)

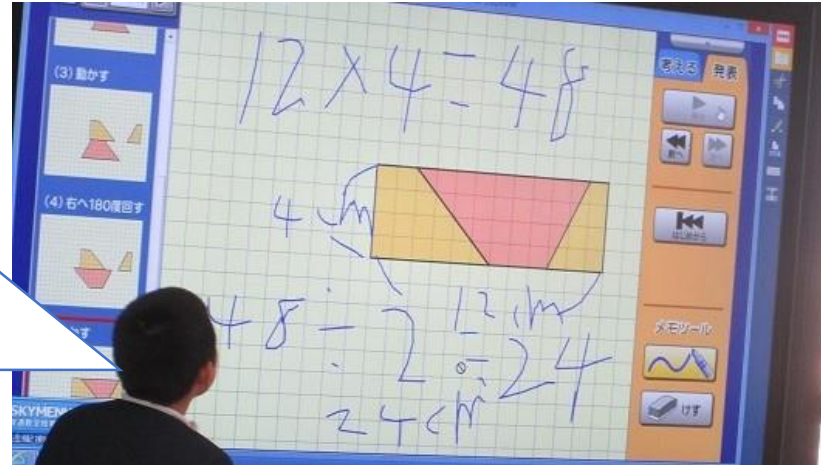
台形をもう1つコピーして2倍にしたから……。本当の面積は、半分になるよね。

# ここがポイント!

## 展開での活用場面②

自分の考えを電子黒板に提示して友達に伝えたり、同じところ、違うところを見付けたりしながら、自分の考えと比較し、吟味できます!

ぼくは、台形を真ん中から半分に切ってコピーしました。コピーしたところを回転して、左右に動かしてくっつけたら、長方形になるので…。



自分なりの考えを表現し、一人一人の考えを視覚的に確認しながら、学級全体で共有できます。

児童の思考過程を1人1台端末で記録・再生することができるので、児童の考えを授業後に確認することができます!  
(記録に残す評価として活用できます。)



考え方は違うけど、最後は同じ長方形になってる!  
答えも同じだね!

# ここがポイント!

## まとめでの活用場面③

それなら、公式に使われている $\div 2$ の意味は……なるほど!

台形の面積は求められたから、次はひし形にも挑戦!



上底はこの長さで、  
下底はこの長さ……。だから足すと、長方形の横の長さになるんだね!

全体共有を経て導き出した公式の理解を深めるために、端末上に記録された自分の思考過程を振り返りながら公式とつなげていきます。

1人1台端末に記録した自分の思考過程を振り返ることで、公式の理解を深めることにつながります。試行錯誤しながら課題解決したことが、**次の課題に主体的に取り組む**ことにつながります。